



気をつけよう！スマホ・SNSの使い方

スマホにはいろいろな機能があり、とても便利で、学習面に役立つことも多くあります。ちなみに、昨年度のアンケートでは、一条中生の中で「スマホを持っている」という人は8割もいるということです。

でも、気をつけないと、生活習慣の乱れにつながったり、犯罪などのトラブルに巻き込まれたりすることも…。



(1) アプリ等によるトラブルの例

どんなアプリ等で、どんなトラブルに巻き込まれることがあるのか、少し例を挙げてみたいと思います。

① ゲームアプリ

- ・「ポイントを上げるためにIDとパスワードを教えて」と言われ、教えてしまったらIDを乗っ取られて脅迫されてしまった。
- ・夢中になって遊ぶうちに、課金されると気づかずに何度もガチャをやって、いつの間にかどんどんポイントを買っていて、気が付いた時には請求額が10万円以上になってしまった。
- ・「ゲームのデータをあげるから」と言われ、代わりにコンビニで買えるギフトカードや自分の個人情報を送ったら、ゲームのデータは送られてこず、個人情報を拡散すると脅迫された。

② 画像・動画共有アプリ

- ・雑誌や漫画のページ、テレビ番組や映画、友達や他人の画像・動画を勝手にアップロードしたり、アップロードされたものを勝手にダウンロードしたりすることは犯罪！
- ・「年齢確認」のタブをクリックしたら急に登録が完了し、請求画面が出てきた…これは「ワンクリック詐欺」と言われる架空請求！
- ・「映え」の写真を撮りたいため、線路内や他者の敷地などに立ち入ってしまい、警察に通報され、鉄道営業法違反や不法侵入等の罪に問われることも。

③ 複数の人が情報交換やID・QRコードなどの交換を行うアプリ

- ・学校や家の近くで撮影した写真をアップすることで、その人の生活圏が特定されてしまい、まったく知らない人（と本人は思っているが犯人はSNSでリサーチ済）からストーカー行為を受けたり、誘拐されたりしてしまう事案もある。自撮りした写真などはさらに危険！
ネット上で親しくしていると思っても、相手が本当に良い人かどうか（年齢・性別なども偽っている可能性もある）を確かめることは難しい。
- ・「今日は家族旅行で〇〇に来ています」とつぶやくと、「家には誰もいません」と知らせていることにもなり、空き巣等の被害にあうこともある。
- ・有名人の悪口を匿名で投稿したら、同調する投稿や根拠のない悪口などがネットに広まった。自分が発信者だと判明したことから、虚偽の投稿内容により名誉を傷つけられたとして、慰謝料などを求める訴訟（裁判）を起こされた。

(2) 大きな影響を及ぼすスマホ・SNS

(1) に書いたこと以外にも、下記のような心配があります。

- ☞ 昼夜や場所を問わないやり取りで、生活習慣や学習習慣の乱れが起こっていませんか？
- ☞ 常に見ていないと不安になるなど、依存傾向が現れていませんか？
- ☞ 自分が思うペースで返信が来ないことを一方的に不満に思ってしまう、相手の都合や気持ちを考えることを後回しにしてしまっていないですか？
- ☞ 大量のメッセージやスタンプを送るなど、相手の迷惑になっていませんか？
- ☞ 既読スルーや誤解などで、相手の状況を確認せずに怒ったり、グループから外したりしていませんか？ ← いじめの原因になってしまう可能性があります。
- ☞ 大量のメッセージ送信や返信の強要は、ストーカー行為となってしまう場合もあります。

(3) トラブルに巻き込まれないために・・・

先月5月11日(水)のノースマホ・ノーゲームデーの際に、リーフレットも配付して、次の2点についてお願いしましたが、確認していただけただけでしょうか？

- * フィルタリングの設定(ペアレンタルコントロールの設定)
- * わが家のスマホ・ケータイルールの確認

それ以外でも、実際に使用する皆さんが「ルールやマナーを守り、自分を律して使用する」ことが大切です。

- 「〇時以降は使わない」などの約束を家族とはもちろん、友達と確認しておきましょう。
- 24時間つながってなくても友達はいなくなります。アプリをチェックし続けなくても不安を感じる必要ありません。
- 学校や部活など実際に人に会って行うコミュニケーションや経験を大切にしましょう。
- 自分が送られて嫌な内容、悪口やうわさ話は人に送らないようにし、メッセージを送る前に誤解を招く表現でないか確認しましょう。
- トラブルに巻き込まれた・巻き込まれそうになった時は、おうちの人に相談し、万が一の時は警察に届けましょう。

保護者の皆様へ

日頃のお子様のスマホ・ゲーム等の使用状況はいかがでしょう？親子で決めた使用上のルールは守れているでしょうか？

お子様のスマホ・ゲーム等の使用について、一番近くで見守ることができるのは保護者の皆さんです。いわば一番の「監督責任者」ということになります。思春期に入り、自我も発達してくる時期なので、全てを把握することはなかなか難しいと思いますが、日ごろのコミュニケーションの中で、スマホ・ゲーム等の使用について触れていただき、適切な使用の仕方について、お子様が考える機会を作っていただければと思います。学校でも、折に触れ、情報モラル等についての指導をしております。

なお、何かトラブルになった、またはその疑いがあるなど、ご家庭で対応を迷われる場合には、遠慮なく学校にご相談ください。保護者の皆様と学校の両輪で、お子様を守っていきけるよう、ご協力をお願いいたします。

